

2027年3月期 第1四半期 決算説明資料

2026年8月4日

デクセリアルズ 株式会社

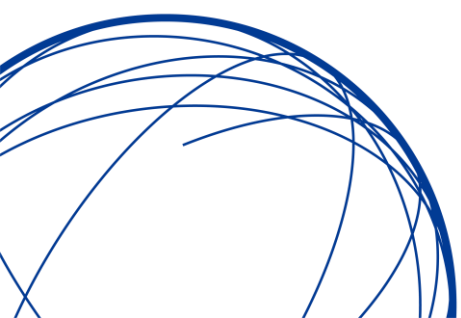


FY26.1Q 決算概要

FY26 業績見通し

見通しに関する注意事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成を約束する趣旨のものではありません。実際の業績などは様々な要因により異なる可能性があります。



決算ハイライト

FY26.1Q 実績

売上高:271億円、事業利益:82億円 前年同期比増収増益(為替レート:159.5円/米ドル)

➤ 売上高

ハイエンドスマートフォン向けカメラモジュール関連の高付加価値製品(精密接合用樹脂、形状加工異方性導電膜(ACF))や光半導体の販売が好調なものの、反射防止フィルム(ARF)において、ノートPC向けは前期買い替え需要の反動などや、自動車向けは中国自動車市場の競争激化の影響により、為替影響を除くと減収

➤ 事業利益

売上高同様のマイナス影響および光半導体向けを中心とした成長投資による固定費の増加により、為替影響を除くと減益

FY26 見通し

売上高:1,230億円、事業利益:400億円 前年同期比増収増益(為替レート:150.0円/米ドル)

➤ 年間の業績見通しに変更なし

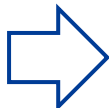
事業環境によるシーズナリティの変化を見込むものの、通期見通しは想定通りに進捗

FY26.1Q 決算概要

(2026.4.1~2026.6.30)



FY26.1Q 主要最終製品の市場・当社動向(前年同期比)

最終製品	市場動向	当社動向	
スマートフォン			- 市場:メモリ価格高騰の影響 - 当社:ハイエンド向けカメラモジュール関連製品が拡大
ノートPC			- 市場:前期並み - 当社:反射防止フィルム(ARF)の前期買い替え需要の反動などの影響
自動車			- 市場:前期並み - 当社:中国自動車市場の低迷などの影響
光半導体 (光トランシーバー)			- 市場:データセンター向け需要の拡大が継続 - 当社:大手顧客向け高速応答フォトダイオードが拡大

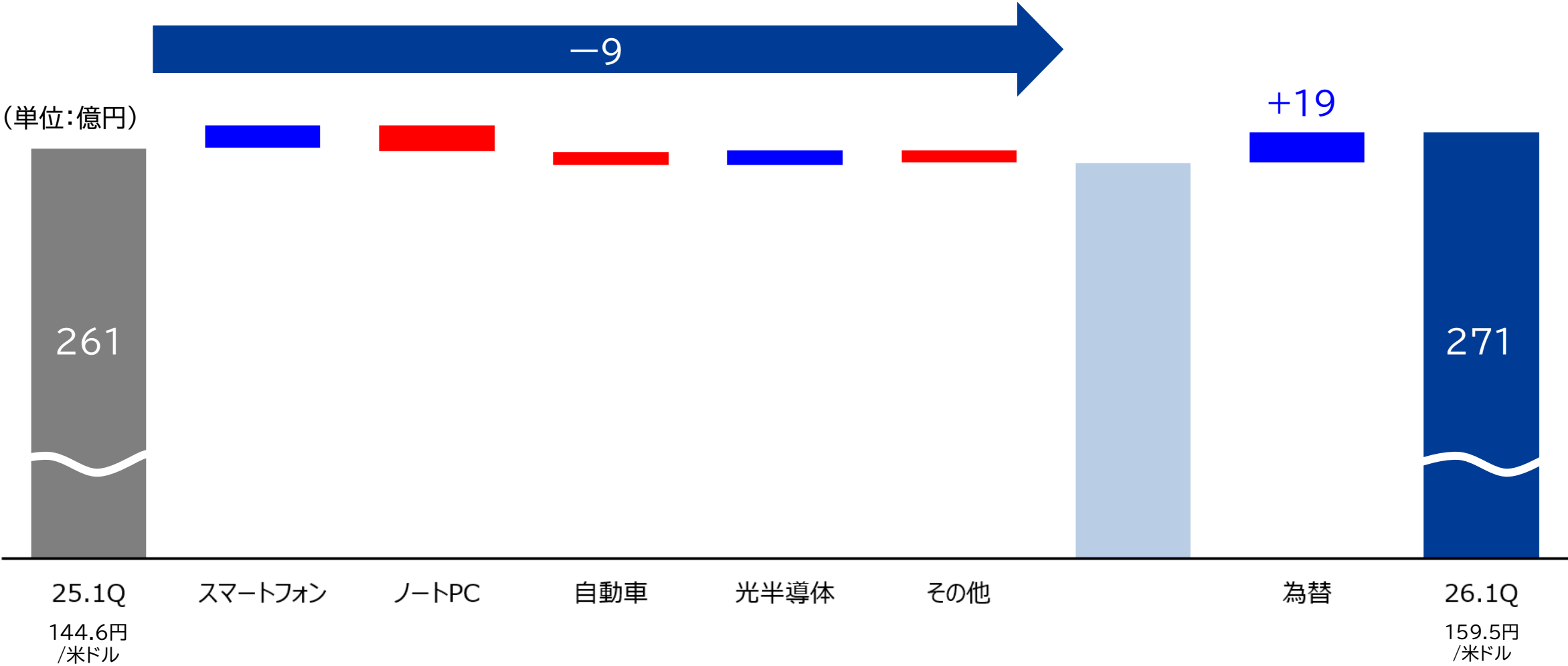
FY26.1Q 連結業績サマリー

(単位:百万円)	25.1Q	26.1Q	前年同期比 増減	
			為替変動の影響除く	
売上高	26,140	27,182	+4.0%	-3.5%
事業利益	7,899	8,275	+4.8%	-17.1%
営業利益	7,985	8,588	+7.5%	
税引前利益	7,709	8,705	+12.9%	
親会社の所有者に帰属する四半期利益	5,565	6,241	+12.1%	
1株当たり四半期利益	33.14円	37.25円	+12.4%	
EBITDA	9,667	10,212	+5.6%	-12.2%
EBITDAマージン	37.0%	37.6%	+0.6%Pt	-3.3%Pt

(注)EBITDA = 事業利益 + 売上原価ならびに販売費及び一般管理費として計上される減価償却費

FY26.1Q アプリケーション別売上高増減(前年同期比)

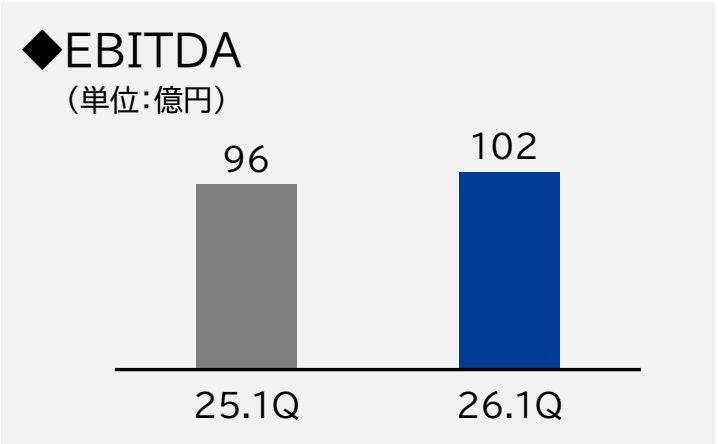
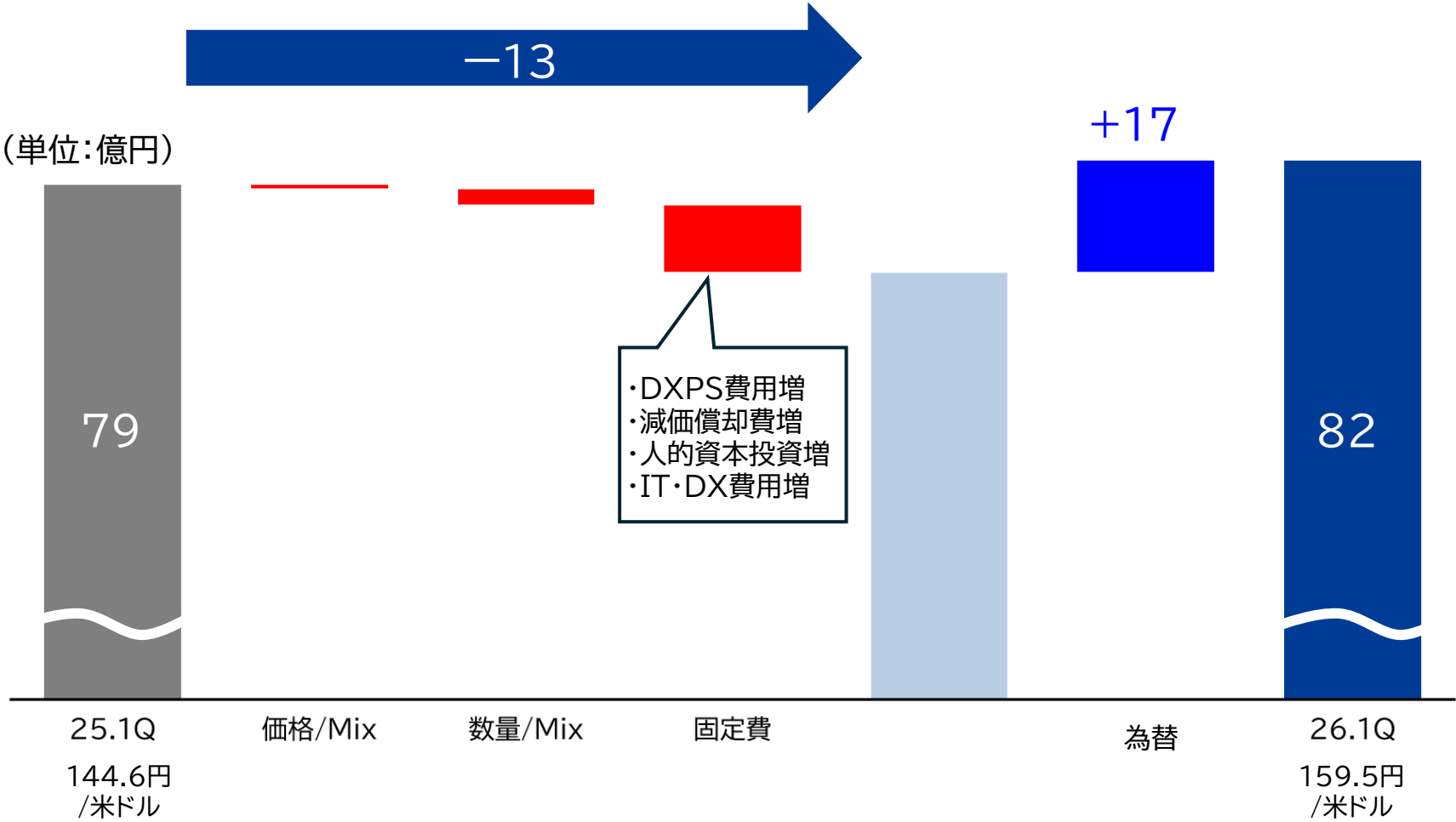
ハイエンドスマートフォン向けカメラモジュール関連の高付加価値製品や光半導体の販売が好調なものの、
反射防止フィルム(ARF)の数量減が影響



(注)一部推定を含む
タブレットおよびデスクトップモニターはその他に含む

FY26.1Q 事業利益要因分析(前年同期比)

反射防止フィルム(ARF)の数量減と、
成長領域である光半導体を中心とする固定費が増加



(注)DXPSはフォトリソ領域を手掛ける当社連結子会社であるデクセリアルズ フォトリソ ソリューションズ株式会社の略称です

FY26.1Q 光学材料部品セグメント(前年同期比)

(単位:百万円)	25.1Q	26.1Q	前年同期比 増減	
				為替変動の影響除く
売上高	11,933	10,329	-13.4%	-18.8%
事業利益	3,329	2,713	-18.5%	-34.4%
EBITDA	4,161	3,551	-14.7%	-27.4%

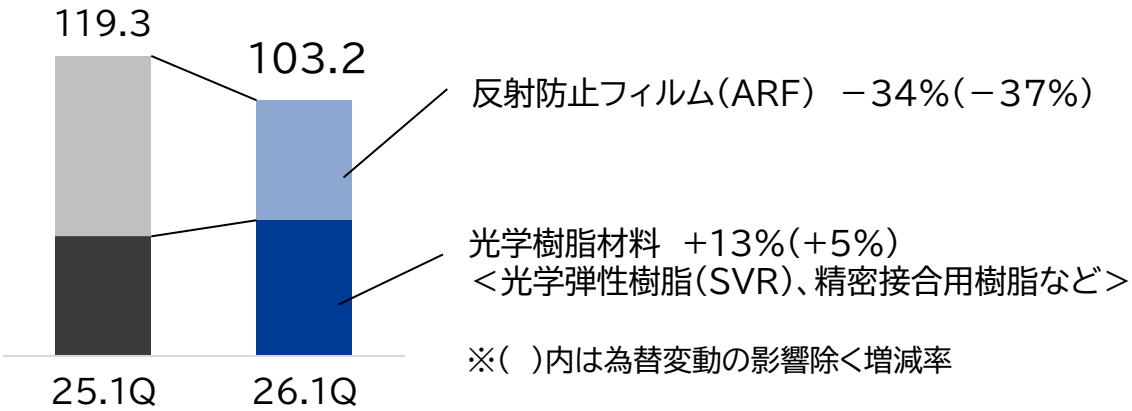
〈主な売上高増減要因(為替影響除く)〉

■ 反射防止フィルム(ARF):ノートPC向けは前期買い替え需要の反動などや、自動車向けは中国自動車市場の低迷の影響により減収

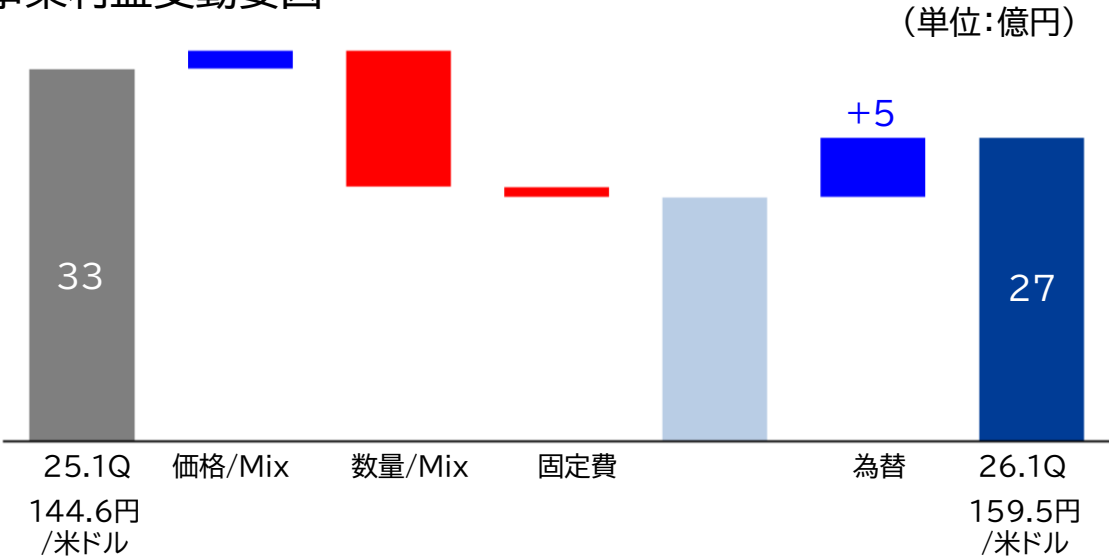
■ 光学樹脂材料:精密接合用樹脂のカメラモジュール向けが好調に推移したことにより増収

(注)光学材料部品セグメント売上高にはセグメント間取引を含む

◆ カテゴリー別売上高 (単位:億円)



◆ 事業利益変動要因



FY26.1Q 電子材料部品セグメント(前年同期比)

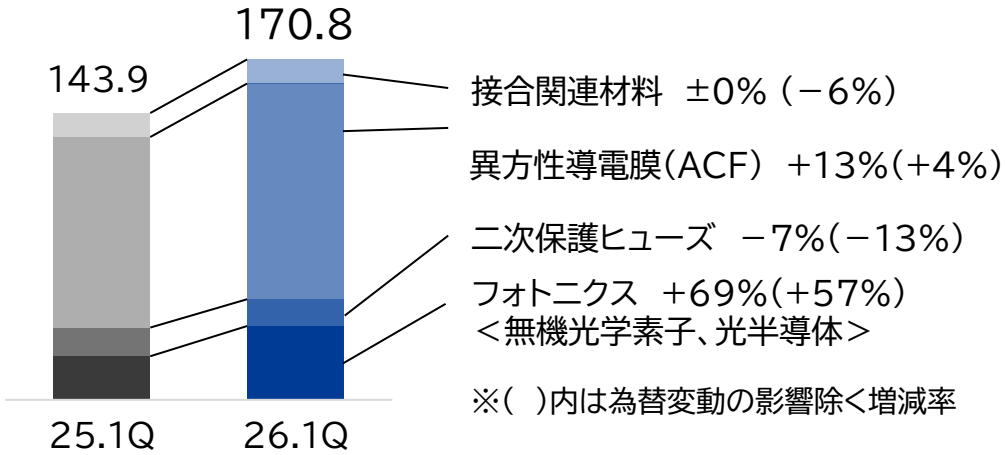
(単位:百万円)	25.1Q	26.1Q	前年同期比 増減	
			為替変動の影響除く	
売上高	14,390	17,080	+18.7%	+9.5%
事業利益	4,570	5,561	+21.7%	-4.5%
EBITDA	5,505	6,660	+21.0%	-0.8%

<主な売上高増減要因(為替影響除く)>

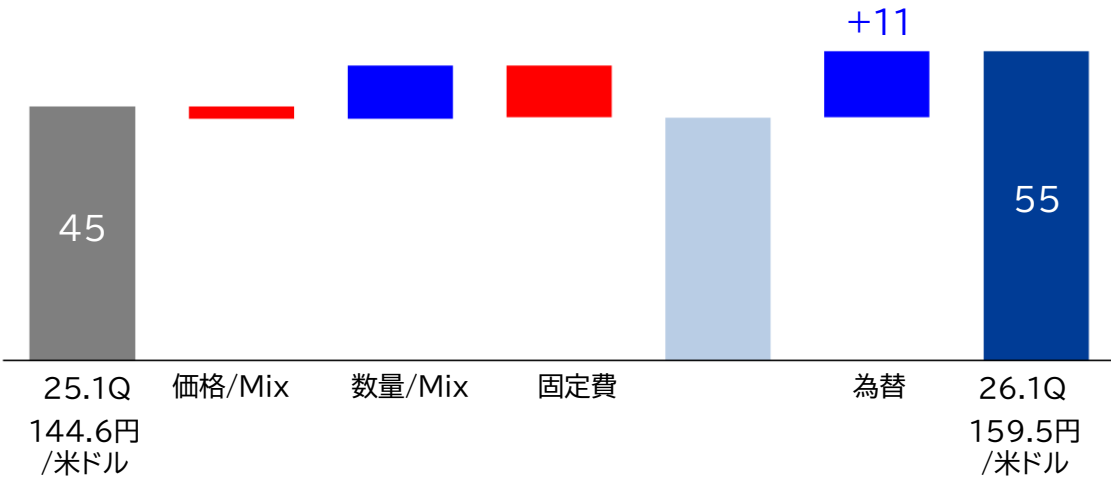
- 異方性導電膜(ACF):カメラモジュール向けの形状加工ACFが好調に推移したことにより増収
- 二次保護ヒューズ:主に電動工具向けで減収
- フォトニクス:高速応答フォトダイオードとモニターフォトダイオードの出荷数量の拡大により増収

(注)電子材料部品セグメント売上高にはセグメント間取引を含む

◆カテゴリー別売上高 (単位:億円)



◆事業利益変動要因 (単位:億円)



FY26 業績見通し

(2026.4.1~2027.3.31)



FY26 連結業績見通し:変更なし

	FY25	FY26	前年同期比 増減	
(単位:百万円)	150.8円/米ドル	150.0円/米ドル	為替変動の影響除く	
売上高	113,832	123,000	+8.1%	+8.2%
事業利益	39,352	40,000	+1.6%	+2.1%
営業利益	38,097	38,500	+1.1%	
税引前利益	38,388	38,500	+0.3%	
親会社の所有者に帰属する当期利益	28,009	27,500	-1.8%	
基本的1株当たり当期利益	166.48円	163.45円	-1.8%	
1株当たり配当額	58.0円	64.0円	+6.0円	
配当性向	34.8%	39.2%		
DOE	9.5%	9.2%		
自己株式取得総額	4,999	—		
総還元性向	54.0%	—		
EBITDA	46,892	48,700	+3.9%	+4.3%
EBITDAマージン	41.2%	39.6%	-1.6%Pt	-1.5%Pt
ROIC	22.8%	17.8%	-5.0%Pt	
ROE	27.3%	23.7%	-3.6%Pt	

中計期間累計で総還元性向60%をめどに実施

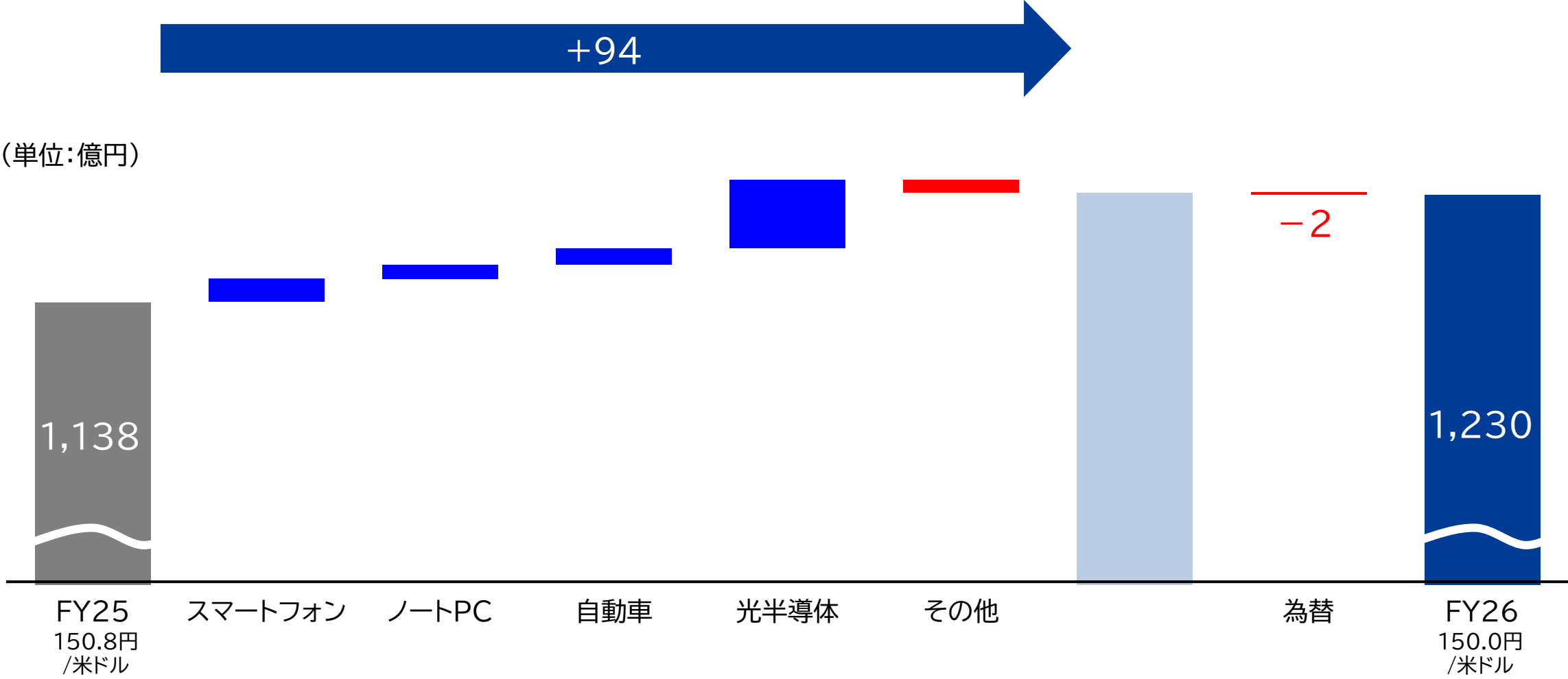
(注)総還元性向 =(年間配当金総額 + インセンティブ目的の取得を除く自己株式取得総額)÷ 親会社の所有者に帰属する当期利益 × 100
 EBITDA = 事業利益 + 売上原価ならびに販売費及び一般管理費として計上される減価償却費
 ROIC =(事業利益 ×(1 - 実効税率))÷(親会社所有者帰属持分 + 有利子負債)× 100

FY26 業績見通し セグメント別内訳:変更なし

	FY25	FY26	前年同期比 増減
(単位:百万円)	150.8円/米ドル	150.0円/米ドル	
光学材料部品セグメント			
売上高	47,971	49,000	+2.1%
事業利益	14,308	14,800	+3.4%
事業利益率	29.8%	30.2%	+0.4%Pt
EBITDA	17,847	18,500	+3.7%
電子材料部品セグメント			
売上高	66,724	74,000	+10.9%
事業利益	25,043	25,200	+0.6%
事業利益率	37.5%	34.1%	-3.5%Pt
EBITDA	29,044	30,200	+4.0%
連結合計			
売上高	113,832	123,000	+8.1%
事業利益	39,352	40,000	+1.6%
事業利益率	34.6%	32.5%	-2.0%Pt
EBITDA	46,892	48,700	+3.9%

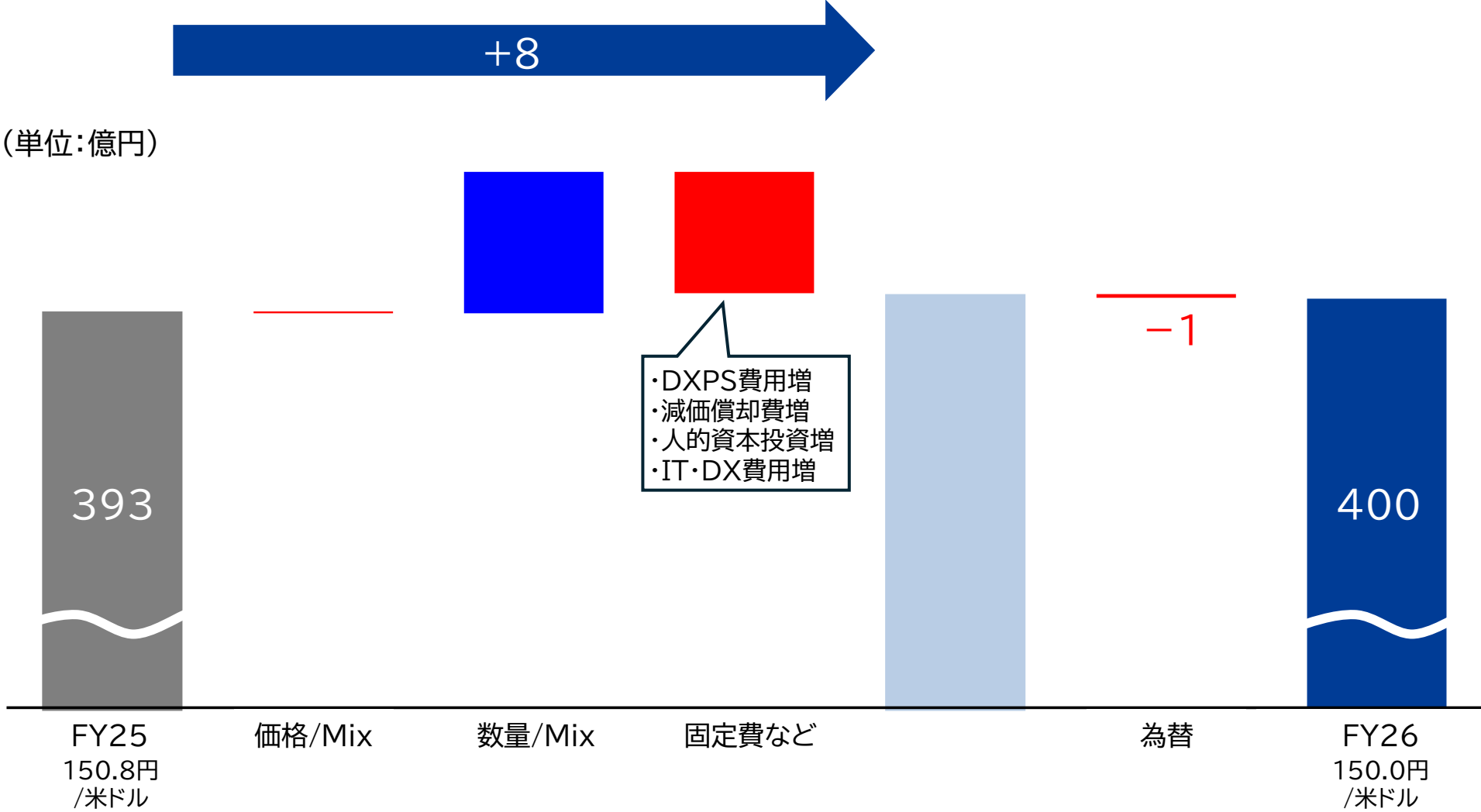
(注)売上高にはセグメント間取引を含む

FY26 アプリケーション別売上高増減(前年同期比)



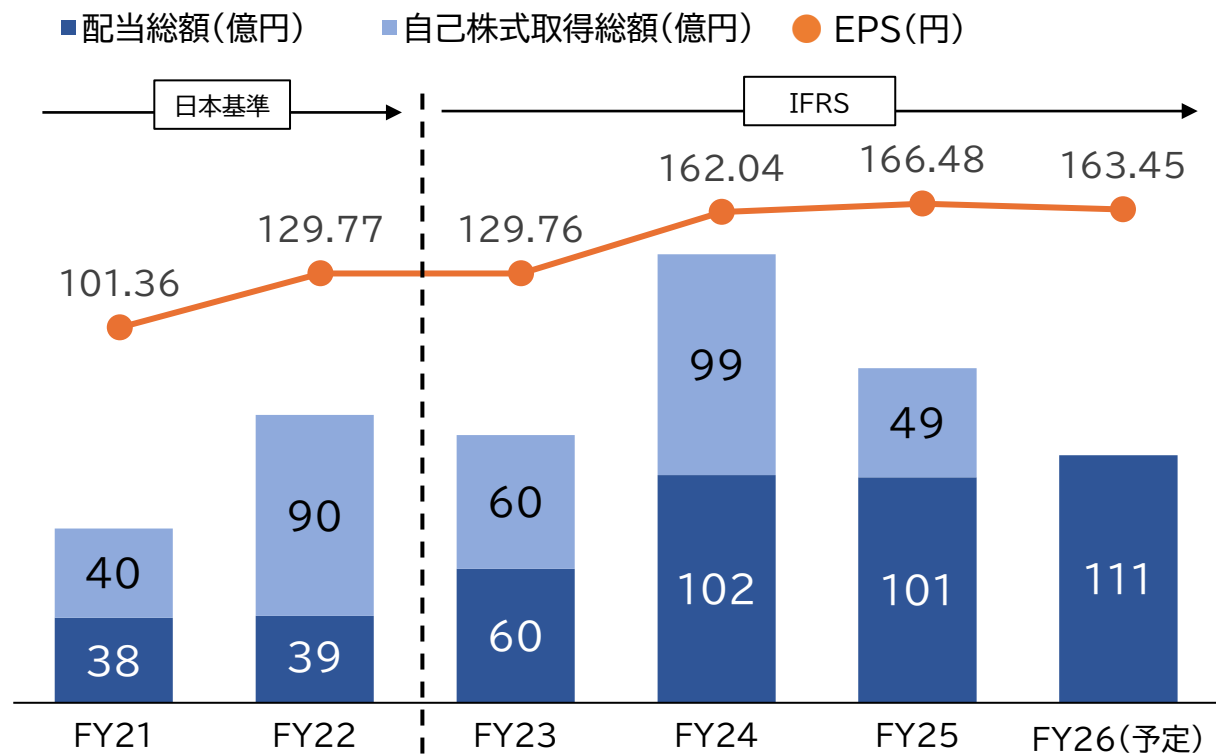
(注)一部推定を含む
タブレットおよびデスクトップモニターはその他に含む

FY26 事業利益要因分析(前年同期比)



(注)DXPSはフォトニクス領域を手掛ける当社連結子会社であるデクセリアルズ フォトニクス ソリューションズ株式会社の略称です

株主還元



◆ 中期経営計画還元方針

総還元性向60%めど(5年間累計)
連結配当性向40%めど
DOE 7%を下限(安定配当を念頭)

◆ 現金配当

1株当たり中間32.0円、期末32.0円を予定

EPS	101.36円	129.77円	129.76円	162.04円	166.48円	163.45円
年間配当金	20.0円	21.7円	33.3円	58.0円	58.0円	64.0円
配当性向	21.8%	18.5%	25.7%	35.8%	34.8%	39.2%
DOE	6.2%	5.6%	7.5%	10.9%	9.5%	9.2%
総還元性向	42.3%	56.6%	53.3%	73.2%	54.0%	—

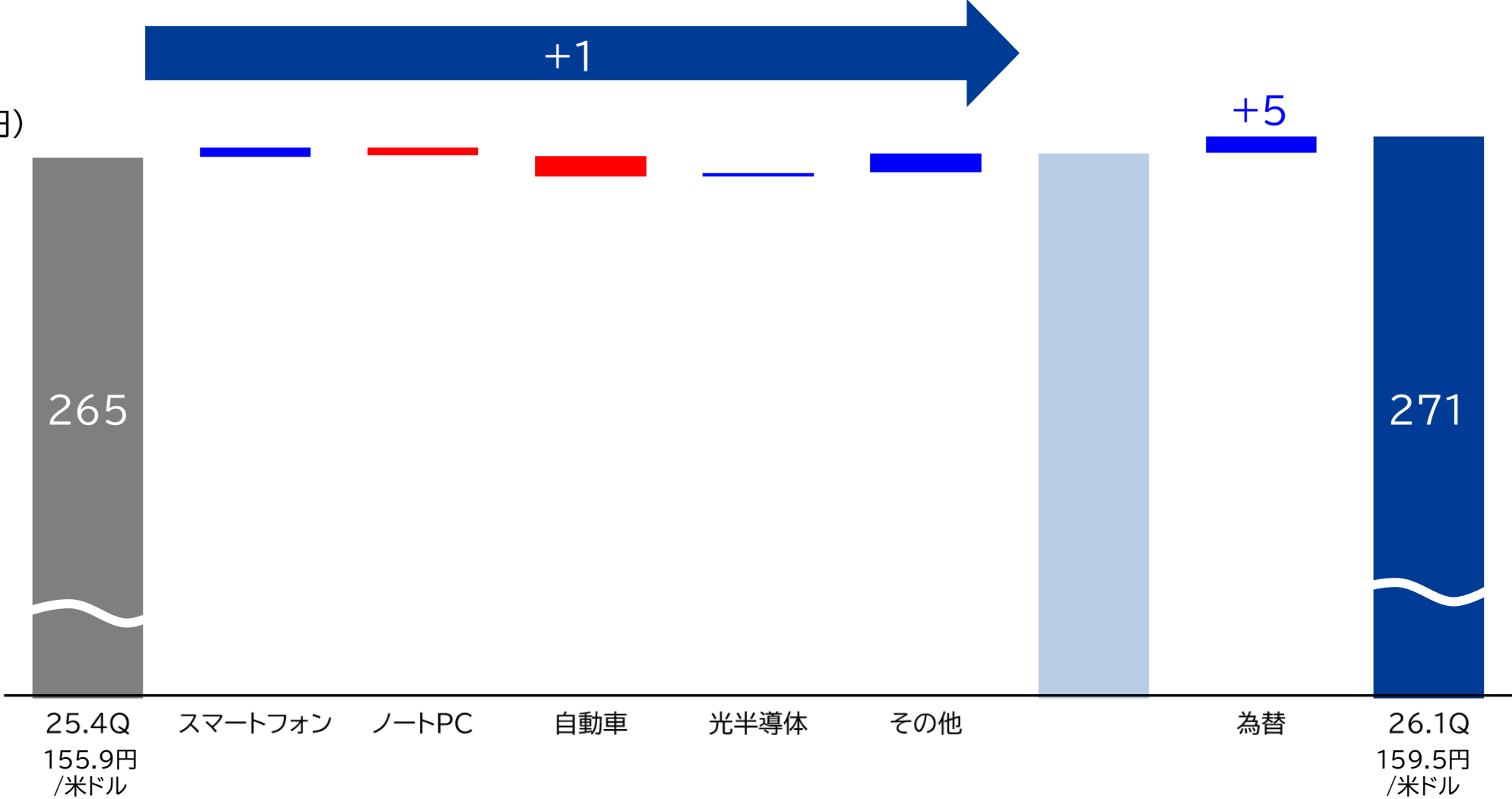
(注)EPSはFY22まではのれん償却前EPSを使用
EPSおよび年間配当金はFY21の期首に株式分割がおこなわれたと仮定して算出

Appendix



FY26.1Q アプリケーション別売上高増減(前四半期比)

(単位:億円)



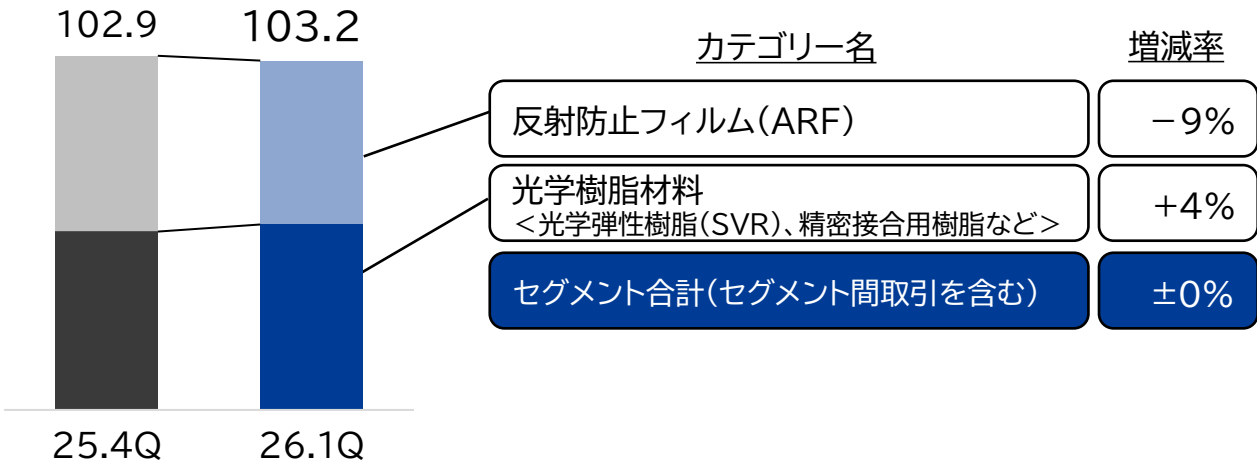
(注)一部推定を含む
タブレットおよびデスクトップモニターはその他に含む

FY26.1Q セグメント別概況(前四半期比)

◆光学材料部品セグメント カテゴリー別売上高

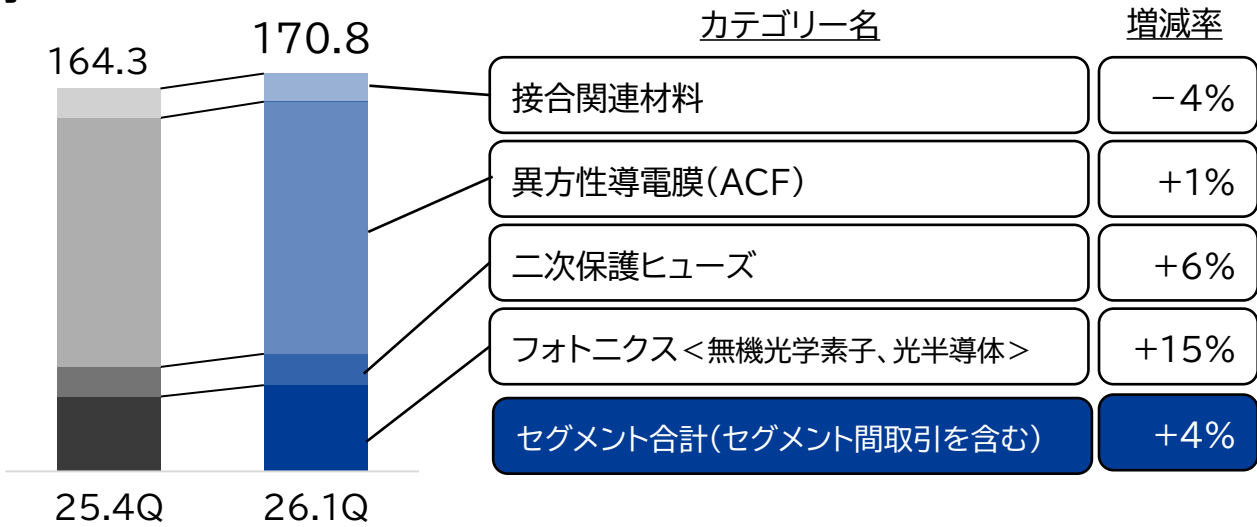
(単位:億円)

	25.4Q	26.1Q	増減率
(単位:百万円)			
売上高	10,299	10,329	+0.3%
事業利益	2,305	2,713	+17.7%
EBITDA	3,266	3,551	+8.7%



◆電子材料部品セグメント カテゴリー別売上高

	25.4Q	26.1Q	増減率
(単位:百万円)			
売上高	16,431	17,080	+3.9%
事業利益	5,575	5,561	-0.2%
EBITDA	6,646	6,660	+0.2%



連結BSサマリーおよび連結CFサマリー

◆連結BSサマリー

(単位:百万円)	2026年3月末	2026年6月末	増減額
流動資産	49,500	50,787	1,286
現金及び現金同等物	16,655	15,189	-1,466
非流動資産	115,603	126,302	10,699
有形固定資産	76,858	87,278	10,420
資産合計	165,104	177,090	11,986
負債合計	55,740	65,660	9,919
有利子負債	16,506	20,302	3,796
資本合計	109,363	111,430	2,066
負債及び資本合計	165,104	177,090	11,986
ネットキャッシュ残高	149	-5,113	-5,262
親会社所有者帰属持分比率	66.2%	62.9%	-3.3%pt
ネットD/Eレシオ	-0.00	0.05	+0.05

◆連結CFサマリー

(単位:百万円)	25.1Q	26.1Q	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,031	4,797	+3,765
投資活動によるキャッシュ・フロー	-2,092	-5,279	-3,186
フリー・キャッシュ・フロー	-1,061	-482	+579
財務活動によるキャッシュ・フロー	-7,928	-1,123	+6,805
現金期末残高	25,843	15,189	-10,654

2026年6月末 自己株式の保有状況

項目	発行済株式数に 占める割合	株式数
発行済株式数	100.0%	174,741,400株
普通株式(自己株式除く)	95.9%	167,532,941株
自己株式	4.1%	7,208,459株
インセンティブ目的以外で保有する自己株式数	0.0%	0株
インセンティブ目的として保有する自己株式数	4.1%	7,207,256株
株式給付信託(J-ESOP)	3.4%	5,946,900株
株式給付信託(BBT-RS)	0.2%	407,264株
譲渡制限付株式	0.5%	853,092株
その他	0.0%	1,203株

四半期データ

	FY25					FY26				
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
(単位:百万円)										
連結合計										
売上高	26,140	31,315	29,839	26,535	113,832	27,182				
事業利益	7,899	12,253	11,317	7,880	39,352	8,275				
事業利益率	30.2%	39.1%	37.9%	29.7%	34.6%	30.4%				
EBITDA	9,667	14,056	13,254	9,913	46,892	10,212				
親会社の所有者に帰属する当期利益	5,565	7,845	7,856	6,741	28,009	6,241				
設備投資額	2,427	2,335	4,515	7,496	16,774	33,318				
減価償却費	1,767	1,802	1,936	2,032	7,540	2,061				
研究開発費	1,467	1,679	1,596	1,997	6,740	1,596				
為替レート(円/米ドル)	144.6	147.5	154.2	156.9	150.8	159.5				
光学材料部品セグメント										
売上高	11,933	13,417	12,321	10,299	47,971	10,329				
事業利益	3,329	4,718	3,954	2,305	14,308	2,713				
事業利益率	27.9%	35.2%	32.1%	22.4%	29.8%	26.3%				
EBITDA	4,161	5,564	4,855	3,266	17,847	3,551				
電子材料部品セグメント										
売上高	14,390	18,119	17,782	16,431	66,724	17,080				
事業利益	4,570	7,534	7,363	5,575	25,043	5,561				
事業利益率	31.8%	41.6%	41.4%	33.9%	37.5%	32.6%				
EBITDA	5,505	8,492	8,399	6,646	29,044	6,660				

(注)セグメント別売上高にはセグメント間取引を含みます
設備投資額はリース契約にかかる固定資産を除いています

5か年実績と見通し

(単位:百万円)	日本基準		IFRS			
	FY21	FY22	FY23	FY24	FY25	FY26 見通し
連結合計						
売上高	95,712	106,167	105,198	110,390	113,832	123,000
事業利益	26,642	32,288	34,086	38,068	39,352	40,000
事業利益率	27.8%	30.4%	32.4%	34.5%	34.6%	32.5%
EBITDA	32,478	39,101	39,386	44,708	46,892	48,700
親会社の所有者に 帰属する当期利益	16,669	20,685	22,575	27,737	28,009	27,500
基本的1株当たり当期利益	91.54円	129.77円	129.76円	162.04円	166.48円	163.45円
1株当たり配当額	20.0円	21.7円	33.3円	58.0円	58.0円	64.0円
自己株式取得総額	3,999	8,999	5,999	9,999	4,999	—
総還元性向	42.3%	56.6%	53.3%	73.2%	54.0%	—
ROIC	22.5%	24.4%	22.9%	22.9%	22.8%	17.8%
ROE	28.5%	30.3%	29.5%	30.6%	27.3%	23.7%
設備投資額	5,250	13,926	7,482	9,190	16,774	63,600
減価償却費	4,207	4,615	5,300	6,640	7,540	8,700
研究開発費	3,876	4,274	4,706	5,330	6,740	6,900
為替レート(円/米ドル)	112.4	135.5	144.6	152.6	150.8	150.0

(注)セグメント別売上高にはセグメント間取引を含みます
FY21およびFY22は日本基準につき事業利益・事業利益率に替えて、営業利益・営業利益率を記載しています
IFRSの設備投資額はリース契約にかかる固定資産を除いています
総還元性向の算出にはインセンティブ目的で取得する自己株式数を含めていません

	日本基準		IFRS			
	FY21	FY22	FY23	FY24	FY25	FY26 見通し
光学材料部品セグメント						
売上高	49,159	55,384	51,453	50,647	47,971	49,000
事業利益	13,127	17,969	15,256	14,556	14,308	14,800
事業利益率	26.7%	32.4%	29.7%	28.7%	29.8%	30.2%
EBITDA	15,428	20,142	17,584	18,006	17,847	18,500
電子材料部品セグメント						
売上高	47,195	51,495	54,387	60,434	66,724	74,000
事業利益	15,304	16,106	18,830	23,511	25,043	25,200
事業利益率	32.4%	31.3%	34.6%	38.9%	37.5%	34.1%
EBITDA	17,049	18,958	21,802	26,701	29,044	30,200

Our Purpose & Sustainability

Purpose

Empower Evolution.

つなごう、テクノロジーの進化を。

Empower Evolution.

Connect People and Technology.

Materiality

「技術」と「人財」の強化

10年後のありたい姿

- より広い領域でデジタル・テクノロジーの進化に貢献
- 社会的価値と経済的価値を創出し、持続的成長を実現

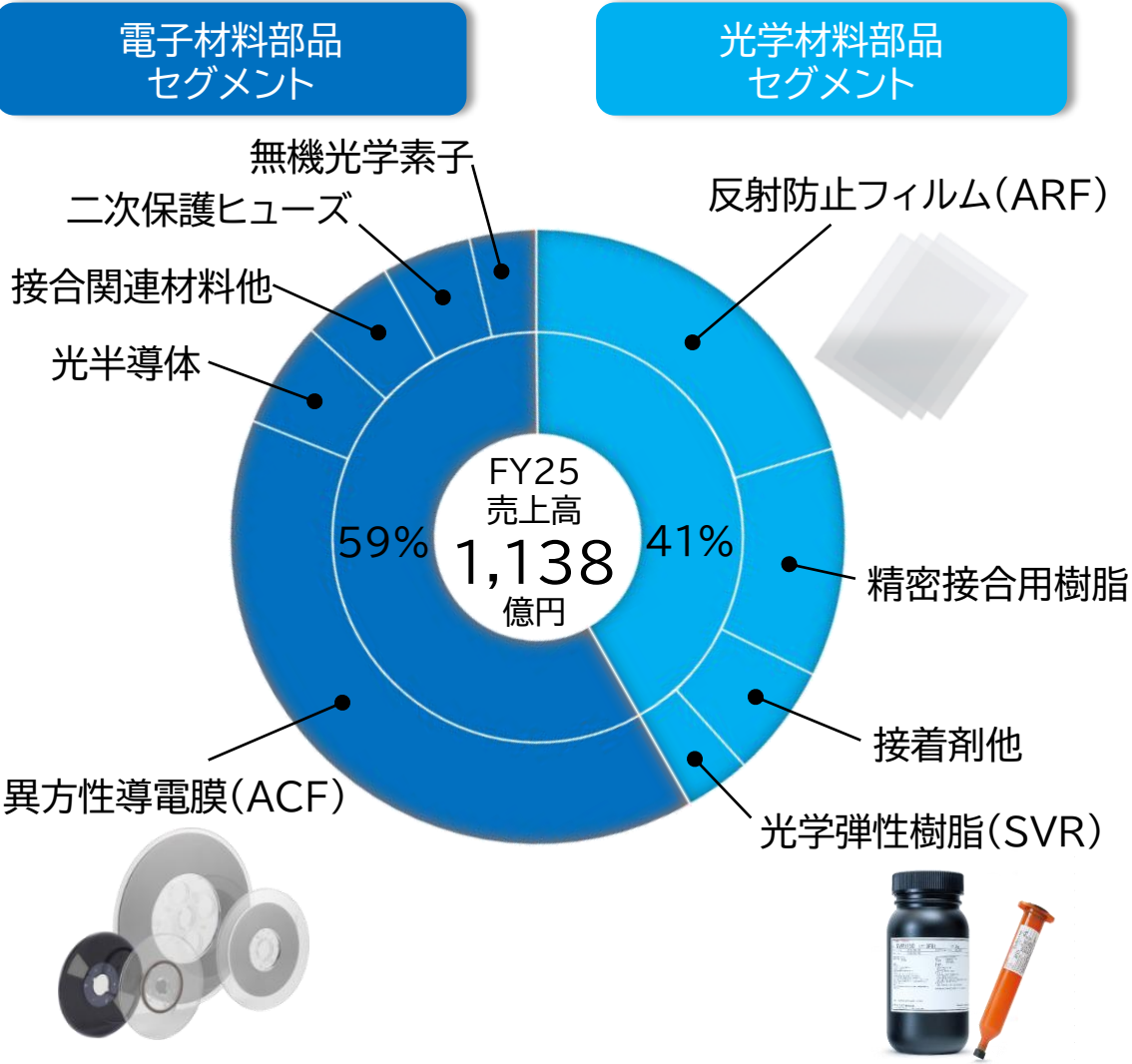
人と技術をつなごう。
社会と希望をつなごう。
デジタルテクノロジーの
進化に欠かせない材料やデバイス、
ソリューションを生み出して、
ここから世の中を変えていこう。

私たちデクセリアルズは、
お客さまと一緒に明日を思い描き、
課題を一つひとつ解決していく。
技術と人を巧みに掛け合わせ、
新たな進化を生み出していく。

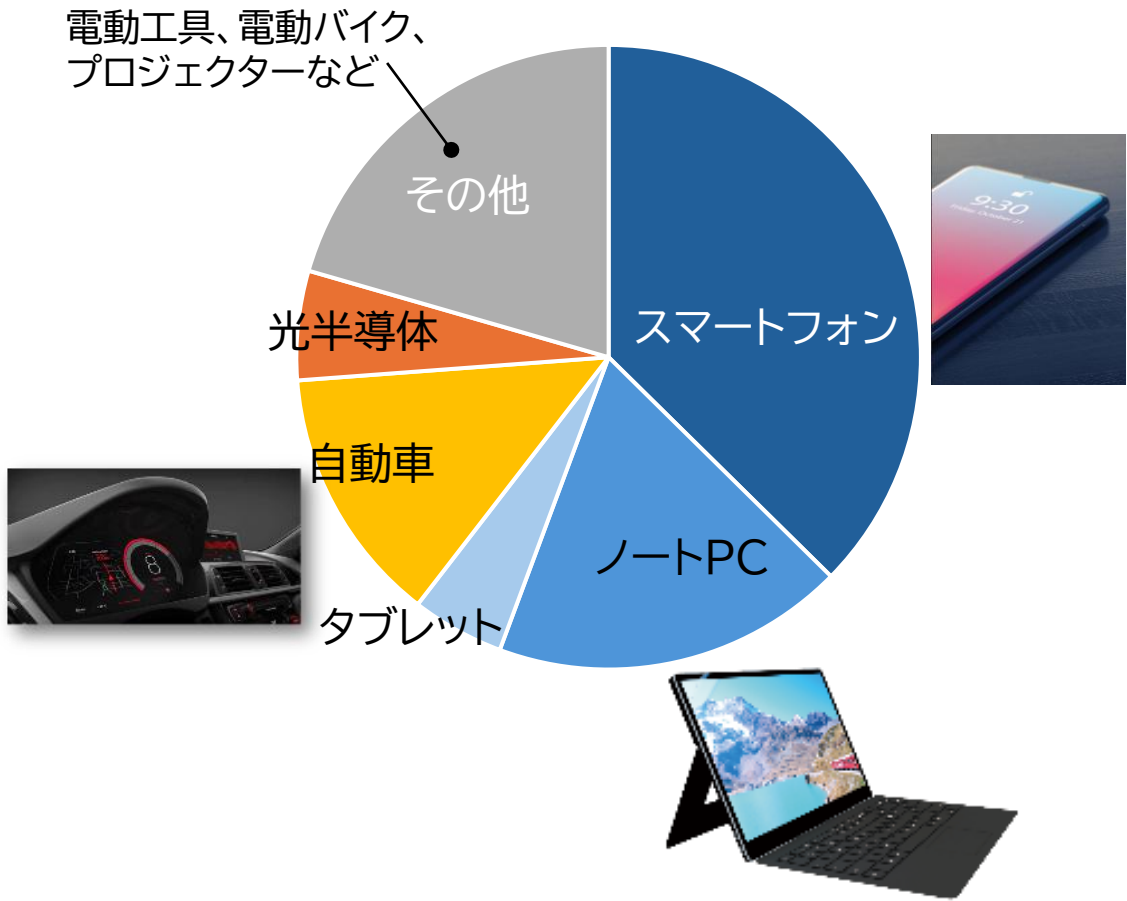
さあ、今日も挑戦しよう。
もっと豊かで、もっと効率的な社会へ。
あらゆるステークホルダーが、
いつまでも心地よく暮らせる世界を目指して。

売上高構成

■ カテゴリー別売上高(FY25)



■ アプリケーション別売上高(FY25)



当社製品×最終製品

反射防止フィルム(ARF)



ノートPCディスプレイなどの光学機器の表面で発生する光の反射を抑制することで視認性の悪化を防止するための光学フィルムです

光学弾性樹脂(SVR)

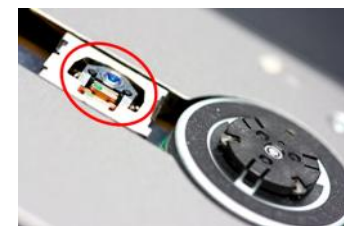


スマートフォン・タブレット・ノートPCなどのディスプレイ内部にあるエアギャップを埋め、光の屈折・反射を抑える紫外線硬化型の弾性樹脂です

精密接合用樹脂



カメラモジュール



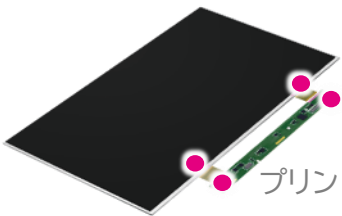
光ピックアップ

紫外線、熱、紫外線+熱で硬化する接合用樹脂です。低温短時間での硬化と低収縮を実現する、スマートフォンなどのカメラやセンサーのモジュールの精密接合に最適な接着剤です

異方性導電膜(ACF)



● 異方性導電膜(ACF)



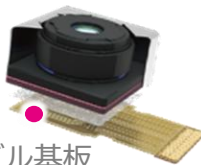
プリント回路基板

大型ディスプレイ
(TV)



フレキシブル基板

中小型ディスプレイ
(スマホ・タブレット・
ノートPC)



カメラ
モジュール

ほぼ全てのフラット パネル ディスプレイで使われるデファクト・スタンダードの接合材料です。熱硬化性の樹脂に導電粒子を分散させた導電性の接着フィルムで、ドライバーICやセンサーモジュールと、基板を導電接続します

二次保護ヒューズ



リチウムイオンバッテリー搭載の電子機器を安全に使用するための二次保護回路ヒューズです。リチウムイオンバッテリーの「過電流」と「過充電」時にヒューズエレメントを溶断することで電池の安全性を向上させます

当社製品×最終製品

異方性導電膜(ACF)

光学弾性樹脂(SVR)

反射防止フィルム(ARF)

精密接合用樹脂

車載ディスプレイ



ディスプレイの電子化や画面の大型化・高精細化により、高い反射防止機能と防汚性能を持つ当社の反射防止フィルム(ARF)の採用が進んでいます。その他にも、光学弾性樹脂(SVR)や異方性導電膜(ACF)なども車載ディスプレイ向けに伸長しています

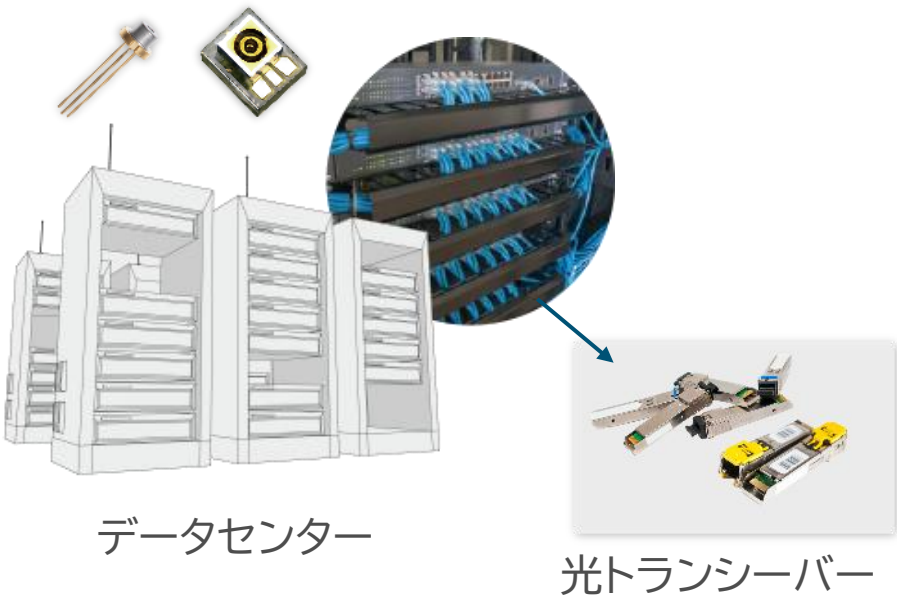
車載センサー



先進運転支援システム(ADAS)の進化に伴い、自動車一台当たりの車載センサーの搭載数が増加しており、センサーモジュール向けに当社の精密接合用樹脂の採用が進んでいます

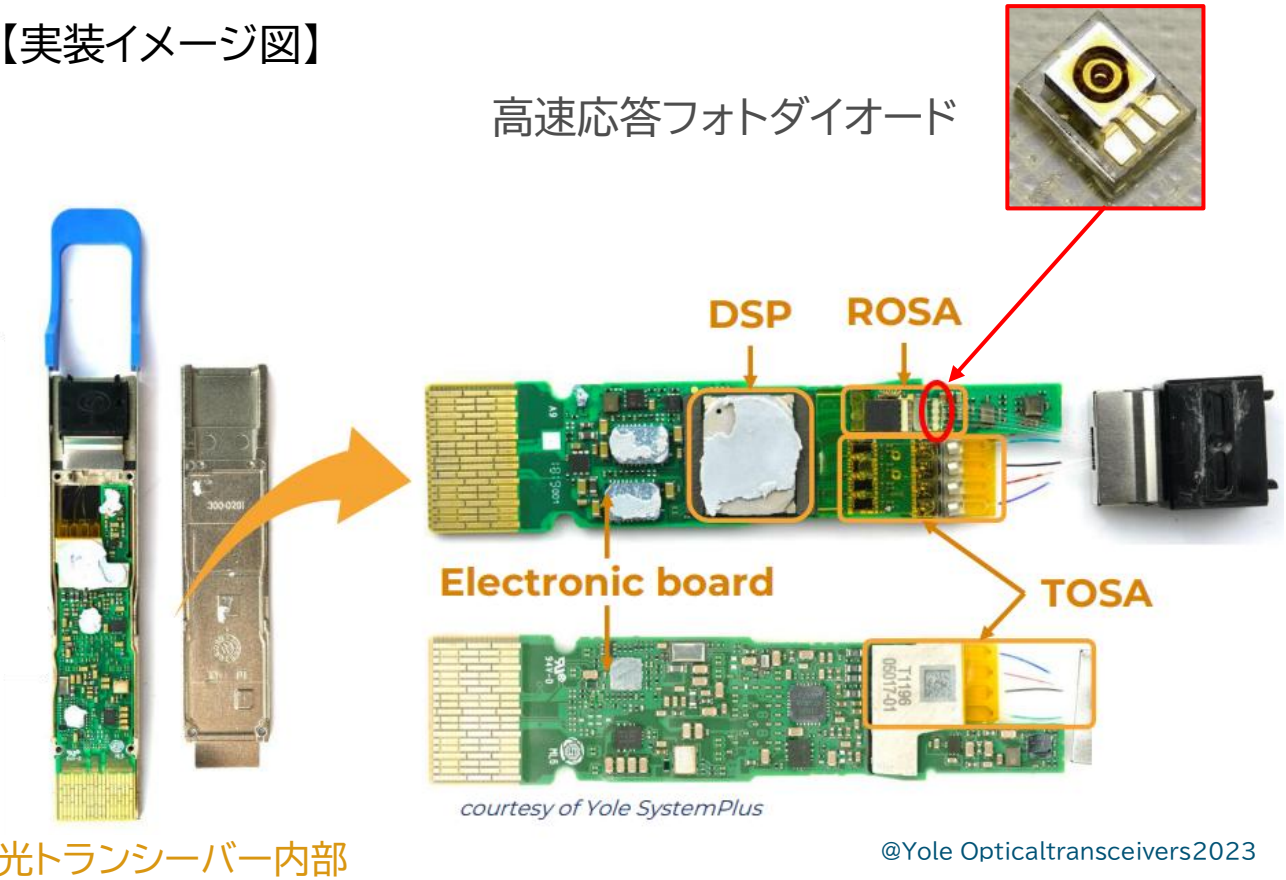
当社製品×最終製品

光半導体デバイス



電気を光に、光を電気に変換する半導体素子を総称して「光半導体」と呼び、これらが組み込まれた電子部品が光半導体デバイスです。各種データセンター向け光トランシーバーなどに当社製品が採用されています

【実装イメージ図】



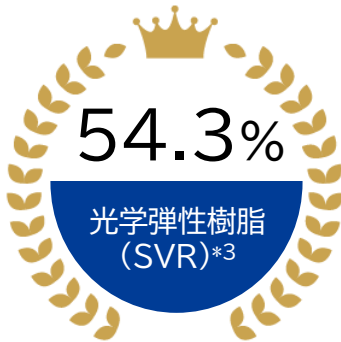
主力製品はニッチな市場で世界シェアNo.1
世界シェアトップの機能性材料が安定した成長の源泉



異方性導電膜 (ACF)

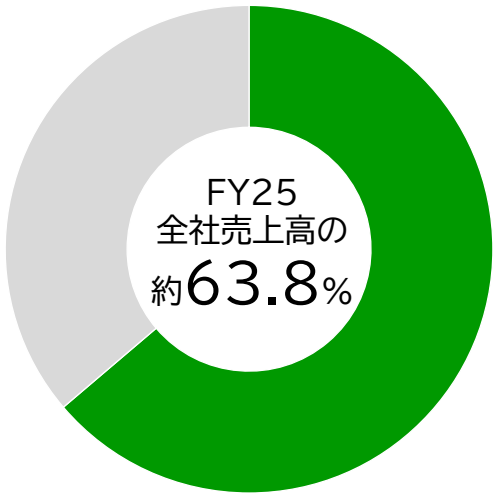


反射防止フィルム (ARF)



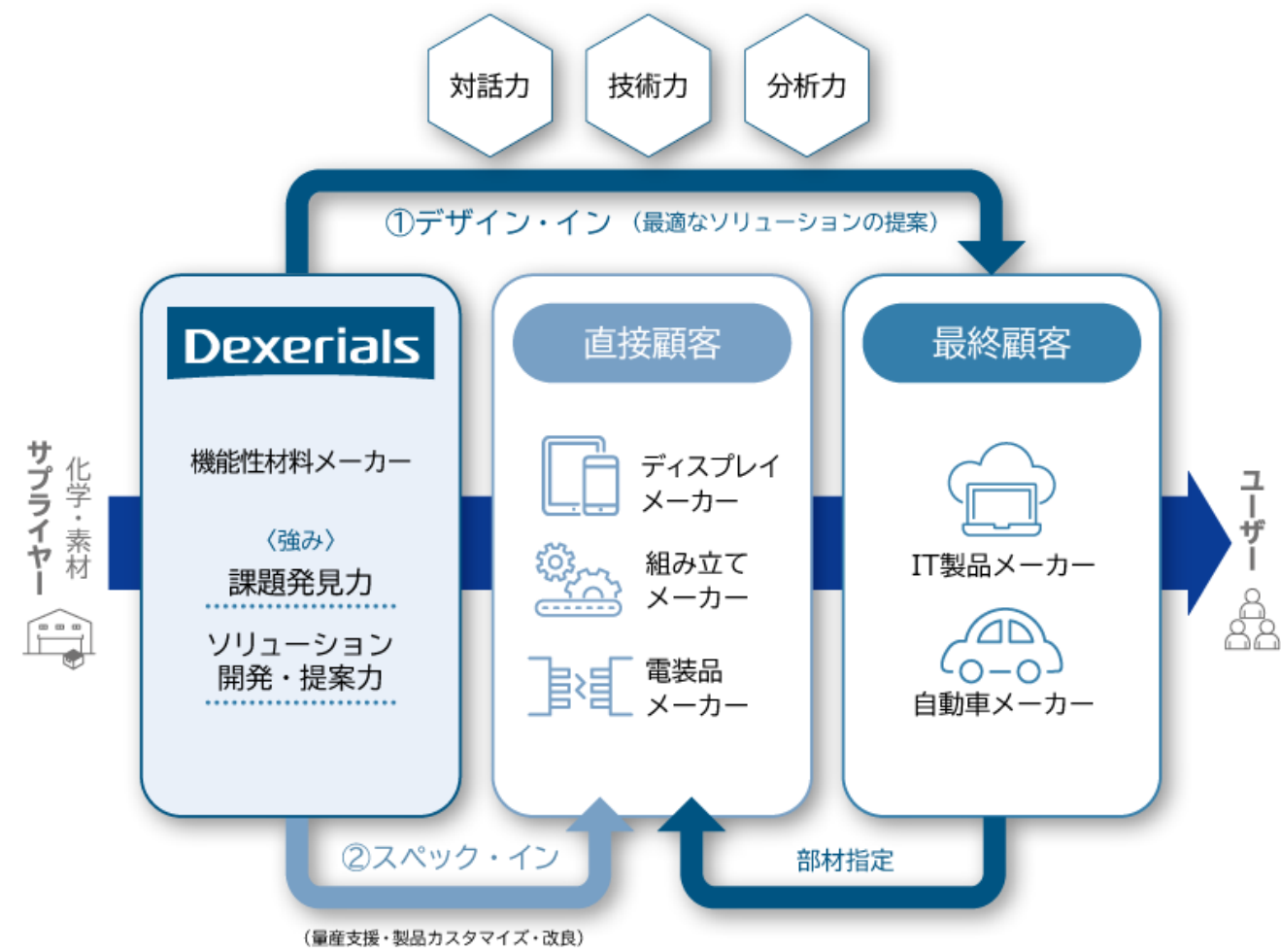
光学弾性樹脂 (SVR)

主力3製品の売上高



※1: 株式会社富士キメラ総研発行「2026ディスプレイ関連市場の現状と将来展望」による、大型および中小型ディスプレイ向けACFの合計の2025年の金額シェア。
※2: 株式会社富士キメラ総研発行「2026ディスプレイ関連市場の現状と将来展望」による、表面処理フィルム(ドライコート)の2025年の金額シェア。
※3: 株式会社富士キメラ総研発行「2026ディスプレイ関連市場の現状と将来展望」による、ディスプレイの貼り合わせで使用する光学透明接着剤(OCR/LOCA)の2025年の金額シェア。光学弾性樹脂(SVR)は、光学透明接着剤の当社製品名です。

当社のビジネスモデル – シングルソース製品の創出 –



当社独自のアプローチ:デザイン・イン

市場に近い最終顧客に直接アプローチし、
未来の技術動向に対する顧客のインサイトをもとに
最適なソリューションを開発・提案

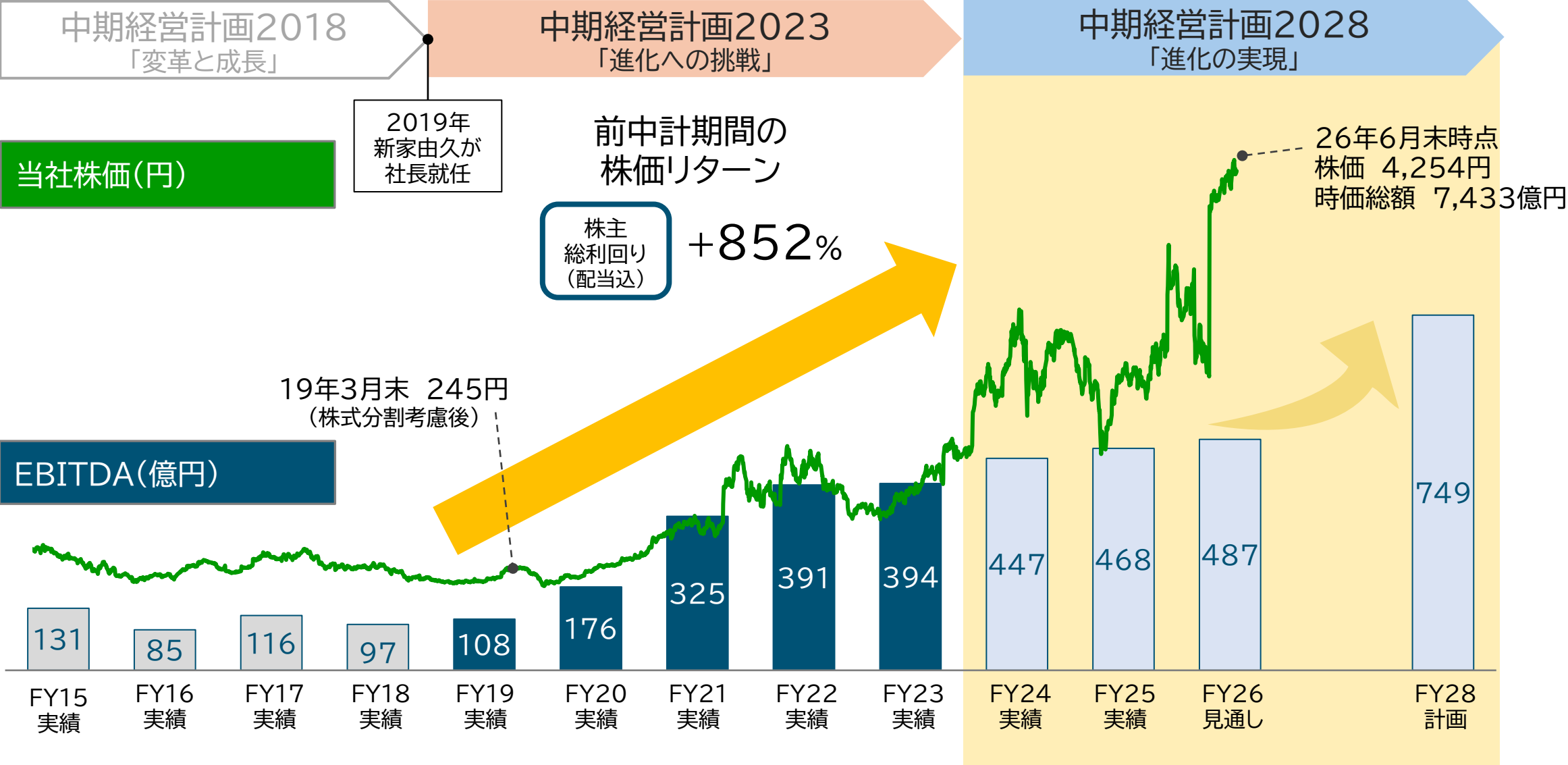
シングルソース製品として部材指定

シングルソース製品の拡大

新たな市場を創出し、技術力・特許取得による高い
参入障壁を構築することで、強い価格決定力を維持

ニッチな市場で高いシェアと
高い収益性を維持

株価とEBITDAの推移



当社は旧ソニーケミカルとして、
60年以上にわたり世界に新たな価値を提供してきました



トランジスタラジオ

1962
ソニーケミカルとして
設立
銅箔 + 接着剤
有機材料

1977
異方性導電膜 (ACF)
第1位
異方性導電膜 (ACF)^{※1}

2007
光学弾性樹脂 (SVR)
第1位
光学弾性樹脂 (SVR)^{※3}

2012
デクセリアルズとして
事業開始
Dexerials

2016
自動車業界へ
の本格参入

2022
京都セミコンダクターを買収し、
フォトニクス事業へ参入
光半導体

世界トップシェア

1972
家庭用テープレコーダー向けの
磁気ヘッドとフェライトコア
無機材料

2002
反射防止フィルム (ARF)
第1位
スパッタリング技術で
製造された反射
防止フィルム (ARF)^{※2}

2008
プロジェクター用無機偏光板
無機光学素子
微細加工

2024
フォトニクス事業をリードする完全子会社として
デクセリアルズ フォトニクス ソリューションズを
設立
光半導体

※1: 株式会社富士キメラ総研発行「2026ディスプレイ関連市場の現状と将来展望」による、大型および中小型ディスプレイ向けACFの合計の2025年の金額シェア。
※2: 株式会社富士キメラ総研発行「2026ディスプレイ関連市場の現状と将来展望」による、表面処理フィルム(ドライコート)の2025年の金額シェア。
※3: 株式会社富士キメラ総研発行「2026ディスプレイ関連市場の現状と将来展望」による、ディスプレイの貼り合わせで 사용되는光学透明接着剤(OCR/LOCA)の2025年の金額シェア。光学弾性樹脂(SVR)は、光学透明接着剤の当社製品名です。

Empower Evolution.

つなごう、テクノロジーの進化を。